

平成25年度第3回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成25年6月17日（月）13時00分～14時50分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	古賀 実
副学長	半藤 英明
事務局長	岡本 哲夫
文学部長	山田 俊
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	松尾 隆
地域連携・研究推進センター長	松添 直隆
学術情報リサーチセンター長	三浦 章
環境共生学研究科長	北原 昭男
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学大学院特任教授	渡辺 満利子

欠 席：熊本県公立高等学校長会会長 中西 眞也

事務局：田代事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、花村企画調整室長、福永総務課長、前田地域連携・研究推進センター事務長、教務入試課阿蘇品班長、企画調整室山田参事

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成24年度業務実績報告書について

事務局企画調整室から、平成24年度業務実績報告について、資料1-1に基づき、審議・検討スケジュールとして、5月の自己点検・評価委員会、6月の教育研究会議、経営会議、理事会での審議を経て、6月末日までに熊本県公立大学法人評価委員会へ提出、その後同委員会で評価され、評価結果につき9月には知事による議会報告になることについて説明があった。また、資料1-2に基づき、自己評価の概要は、65の取組項目のうち、教育研究に関する項目は44あり、内訳はA（年度計画を十分実施）が37、B（年度計画をおおむね実施）が6、C（年度計画を下回っている。）が1、D（年度計画を下回っている。）は0であったとの説明後、資料1-3に基づき、主要な項目と自己評価が低いものを中心に説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成28年度一般入試の実施教科・科目等について

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「平成28年度一般入試の実施教科・科目については、新学習指導要領の実施に伴い、文部科学省の通知により、従来ルールの2年前より前倒しで公表することとされている。入学試験委員会において、資料2-2のとおり、個別学力検査について、文学部日本語日本文学科前期日程試験「国語」の出題範囲を、従前の「国語総合・国語表現Ⅰ」から「国語総合」へ、文学部英語英米文学科前期日程・後期日程試験及び環境共生学部全学科の前期日程試験「英語」の出題範囲を、従前の「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング（（英語英米文学科のみ）リスニングを含む）」から「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーションⅢ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ（（英語英米文学科のみ）リスニングを含む）」へ変更することを決定しましたので、ご審議いただきたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 教員採用に係る枠取りについて

- 1) アメリカ文学・文化
- 2) 英語教育

事務局総務課から、資料3-1に基づき、「文学部におけるアメリカ文学・文化を専門分野とする准教授及び英語教育を専門分野とする准教授もしくは講師の枠取り。平成26年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて文学部長から、「退職教員補充のための枠取りである。アメリカ文学・文化については、英語学、イギリス文学、英語教育と並ぶ英語英米文学科カリキュラムの四本の柱の一つであり、例年、学部生・院生とも専攻希望者が多い状況であり、同じ分野の専門家による早急な教員補充を強く望んでいる。また、英語教育については、英語の教員免許の取得を希望する学生は多く、これまでも現役で教員採用試験に合格する者も出る等、英語英米文学科としても着実に実績をあげてきている。これを維持し、さらに発展させていくために英語科教育を専門とする専任教員が不可欠である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 建築計画学

事務局総務課から、資料3-2に基づき、「環境共生学部における建築計画学を専門分野とする教授、准教授または講師の枠取り。平成26年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて環境共生学部長から、「退職教員補充のための枠取りである。居住環境を考える上で、「建築計画学」、「福祉住環境原論」等の講義が必要であると同時に居住空間を対象とした設計実習も不可欠。これらの講義・演習は、建築士の受験資格取得カリキュラムにおける基幹的な科目であり、担当者を速やかに採用し、講義・演習を継続することが不可欠である。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4) 情報メディア

事務局総務課から、資料3-3に基づき、「総合管理学部における情報メディアを専門分野とする准教授または講師の枠取り。平成26年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて総合管理学部長から、「定年退職者補充のための枠取りである。情報デザインと情報マネジメントを両輪とするカリキュラムを維持していくために、現教員の退職後、早急な人事が実現する事が望ましい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成25年度新入生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料4に基づき、「平成25年4月に実施し、回収率は全体で60%。概要としては、『本学を調べる際に活用したもの』は〔大学案内〕が50%、〔ホームページ〕が34%。『本学について最も知りたかったこと』及び『本学を受験した動機』は前年度と同様に〔勉強内容〕が1位となっている。」との報告があった。

② 平成25年度新2年生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、「平成25年4月に実施し、回収率は全体で60%。概要としては、『入学前に想像していた学習内容と実際の違い』については、〔概ね想像どおり〕、〔半分ぐらい合っていた〕を合計すると87%。『1年間の大学生活に満足しているか』は〔満足〕、〔やや満足〕を合計すると85%。『親戚や後輩等に本学への進学を勧めるか』については、〔勧めたい〕、〔動機が合えば勧めたい〕を合計すると93%となっている。」との報告があった。

③ 熊本県立大学卒業生（入社1年後）の就業力に関する企業アンケート調査について

事務局学生支援課から、資料6に基づき、「平成23年3月に卒業した卒業生が就職した企業・団体の234社（301名就職）を対象に、平成25年1月～2月にかけて実施。アンケートの回収率は、37.1%。概要としては、『新入社員が入社後、職務の遂行で重要視される能力』については、〔コミュニケーション能力〕が96.9%、〔協調性（組織・人間関係）〕、〔主体性・意欲〕が、81.3%。『本学卒業生の入社1年後の状況』で〔コミュニケーション能力〕については、〔高い〕、〔やや高い〕を合計すると76.6%。また、〔協調性（組織・人間関係）〕、〔主体性・意欲〕については、合計するとそれぞれ、84.8%、72.9%となっている。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成25年度第4回 7月22日（月）午前11時～ 本部棟2階大会議室

5 閉会